

ビジネスクラスV o I PソリューションパッケージV o x i P (ボクシップ)の モバイルプラン機能強化

- 無線I P電話による機動性と多彩な機能でスムーズなモバイルコミュニティを提供 -

株式会社 日立コミュニケーションテクノロジー（取締役社長：青木 榮司）は、「ビジネスクラスV o I Pソリューションパッケージ V o x i P (ボクシップ)」として提供する「モバイルプラン」の機能強化を図り、多様なビジネスシーンで場所や時間にとらわれずに効率的なコミュニケーション環境を実現する、無線I P電話を利用したV o I Pソリューションの提供を開始します。

日立コミュニケーションテクノロジーは、I PテレフォニーサーバI P T O W E R - S PシリーズとI P対応P H S接続装置により、構内P H SシステムのV o I Pネットワークへの取り込み、また、S I P対応P H SリモートサーバV S - 3 0 0 0 Pでは、キャリアのI Pセントレックスサービスに構内P H Sシステムの接続を可能としました。このようにV o I Pネットワーク環境下でP H S端末を利用した、場所や時間にとらわれずに、いつでも、どこでも電話対応が可能なモバイルオフィス環境を提供してきました。

近年、無線L A Nをはじめとするオフィス内のワイヤレスネットワークの構築が進んできており、無線L A Nを利用したV o I Pシステムは大掛かりな配線が不要となり、レイアウト変更費の削減や、いつでも、どこでもかかって来た電話を受けることで業務の効率化を実現し、通信コストのT C O削減手段として期待が高まっています。

弊社では、I PテレフォニーサーバI P T O W E R - S PシリーズをオープンなプロトコルS I Pに対応することで、S I Pに準拠した無線I P電話の接続を可能としました。そのひとつとして、日立電線株式会社製W I P - 5 0 0 0を無線I P電話として利用したV o x i Pモバイルプランの提供を、11月5日より開始します。出荷開始時期は本年12月を予定しております。また、V o x i PモバイルプランではS I Pに準拠した無線I P電話の接続を積極的に進め、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモが提供予定のF O M A®/無線L A Nデュアル端末の接続も対応します。

I PテレフォニーサーバI P T O W E R - S Pシリーズは2003年10月より大容量機種「T M 2 0 0 0」のS I P対応を実施し、従来P B Xの優れた機能をサポートしたオフィス内のV o I P化と、オープンなプロトコルに対応することで、S I Pに準拠した各種I P端末の接続を可能としました。さらに、小規模オフィス向けとして小容量I Pテレフォニーサーバ「T M 5 0 0」にS I Pサーバ機能を追加し11月5日より発売します。これにより、I P T O W E R - S PシリーズをS I Pサーバとして、小規模オフィスから大規模拠点までS I Pに準拠した無線I P電話の接続ができ、モバイルオフィス環境の構築が可能となります。

V o x i Pモバイルプランには、以下の特長があります。

1. 無線I P電話対応

W I P - 5 0 0 0を始めとするS I Pに準拠した無線I P電話に対応(*2)。また、F O M A®/無線L A Nデュアル端末では、オフィス内では内線電話として、外出中はF O M A携帯電話として利用

可能です。これにより、外出中にかかってきた電話を自動的に転送することで、確実に電話対応が可能となり、ビジネスチャンスを逃しません。

2. PHS利用から無線IP電話へマイグレーションが可能

PHSを利用しているユーザも、IP対応PHS接続装置により配線をLANに統合。組織や事業所単位に無線IP電話を導入することで、PHSから無線IP電話へシームレスな移行が可能。

既設設備を利用することで、システム導入コストを低減することが可能です。

3. ビジネス用途に応じたアプリケーション連携

業務に応じたアプリケーションと連携することにより、オフィス内のどこからでも携帯端末で情報を入手することが可能となり、ワークスタイルに合ったコミュニケーション環境が実現できます。

また、ソフトフォンと連携することで、電子電話帳連携やWeb連携が可能となり、業務の効率化をさらに加速します。

4. フルIP化でTCO削減

音声・データをIPネットワークで統合することにより通信コストの削減や、ネットワークの運用・管理を一元管理することで管理コストを削減できます。また、無線LANの導入により、レイアウト変更などによる配線工事の削減や、携帯端末の個人利用により人事異動などに伴う番号変更の作業が削減可能です。

日立コミュニケーションテクノロジーは、「IPテレフォニーを、企業の競争力に。」をテーマに、「ビジネスクラスVoIPソリューションパッケージ VoxiP (ボクシップ)」として、設計から構築、運用、保守まで提供致します。今回発売のモバイルプランについても、端末だけではなく無線LANアクセスポイントを含めた全ての機器の提供と、サイトサーベイなどのシステム設計・構築、ネットワークの運用・保守など、ワンストップで提供します。

(*1) SIP (Session Initiation Protocol): IP網で、電話の呼の設定を実現するためのプロトコル。

(*2) IPTOWER - SPシリーズと接続検証が必要です。

< VoxiP >

VoxiPは、株式会社日立製作所が提供する「通信・情報システム融合ソリューション CommuniMax」に基づくソリューションです。

販売計画

年間1,000システム

価格

個別見積

商品名称に関する表示

FOMAは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。

その他、本文に記載の会社名・製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

【製品についての問い合わせ先】

株式会社 日立コミュニケーションテクノロジー

企業ネットワーク事業部 システム部

[担当：菊池]

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目26番3号 大森ベルポートD館

電話 03-6404-0522 (ダイヤルイン)

【報道についての問い合わせ先】

株式会社 日立コミュニケーションテクノロジー

コーポレートサポート室

[担当：市川]

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目26番3号 大森ベルポートD館

電話 03-6404-1232 (ダイヤルイン)

【ホームページURL】

<http://www.hitachi-com.co.jp/>

【問合せ先メールアドレス】

web-com@hitachi-com.co.jp

以上

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

【別紙 1】

< 接続構成図 >

